

稲成ふれあいスクールより 「防災炊き出し体験」を実施しました

稲成ふれあいスクール実行委員会では、11月7日（土）に防災炊き出し体験を実施しました。今回の取組は例年実施していた通学合宿に変わる取組として初めて実施しました。参加対象は、稲成小学校全学年から希望者を募りました。また、今回は他地区の公民館主事にも参加していただき、防災に関する備品や知識を披露していただきました。

まず、避難所でのプライバシー保護の目的のため開発された、ダンボールの間仕切りを組み立てました。他にもブロックでかまどを作り、おにぎり、豚汁を作りみんなで食べ、応急手当やロープワーク、さらにバケツリレーをし、楽しみながら勉強もすることができたと思っています。

稲成ふれあいスクールでは今後も子どもたちが楽しく活動できる場を提供するため取り組んでいきたいと思っております。



寝そべってどんな感覚か体験してもらいました。間仕切りがあればありがたいですね。



おにぎりをあまりにぎった事がない子どももいましたが、慣れてくると上手になり、楽しくできました。災害時には色々なことをしなければいけません。



食事が終わると、応急手当やバケツリレーを実施しました。様々なことを体験していただけたのではと思っています。

公民館だより 平成27年 12月号

稲成

発行：稲成公民館 館長：山田 能久
電話：26-4925 主事：笠松 亮太
FAX：25-6029
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号

市民総合センター内



「びっくりポンやII 稲成っ子パワー」 館長：山田能久

この10月は気温が低くなり、このまま冬に入っていくのかと思うほど肌寒かったです。11月に入ると今度は逆に暖かい日が続き、それにつれて雨の日が多くなりました。世界ではCOP21がフランスで開かれました。私たちの子や孫にこの美しい日本を残せるのか、今を生きる者の責任として、小さなことのひとつひとつの積み上げが大変大事になってきます。

そんな中、11月14日～15日に5年ぶりとなる地域のイベントとして「2015 いなり・むつみふるさとまつり」が開催されました。今回のテーマは、子どもたちが主人公であることでした。これからの日本、いや、稲成を背負ってくれるのは今の子どもたちです。日本はすでに人口が減少する社会に突入しています。田辺市にとってもそれは大変なことになります。11月に発表されました、田辺市の将来の人口目標が45年後（2060年）5万4,382人にするということです。2010年の田辺市の人口は7万9,119人で国立社会保障・人口問題研究所の推計を基にしますと、4万112人（2010年比51%）まで人口が減少します。何もせず、そのままにして45年経てば今の人口の半分になりますよという事なのです。今年生まれた赤ん坊が働き盛りの45歳になる時には、人の住んでいない空家が半分近くになるということです。



市はそうならないよう、少子化対策をしっかりとやり、大学を出ても地元に戻れるような仕事を作る施策を充実させ、5万4,382人を確保しようとしているのです。この人口減少する速度は、私たちの頭ではついていけない程、速くなっていきます。数字で表してみますと、市の人口（旧4町村を含む）の最高は昭和30年の9万3,231人で、平成22年までの55年間で約1万4,000人が減少、それがあと45年間で、何もしなければ約40,000人、対策を充分やっても約25,000人という人口が減少するのです。それに、45年後に残っている高齢者の割合が42%となり、極端な少子高齢化社会となっているのです。私たちの美しきふるさとが下手をすると失われてしまう可能性があるのです。今を生きる私たち大人の責任として、想像できないような社会にならないよう、今の子どもたち、これから生まれてくる子どもたちのために地域として何ができるのか、真剣に考える必要があるように思えます。

今年の「ふるさとまつり」は多くの子どもたちが参加してくれました。子どもたちが体育館一杯になると、それにつられて大人の参加者も増えました。やはり子どもたちのパワーは素晴らしいものがあります。50年後、100年後のこの稲成地域を担ってくれる子どもを大事にして、地域ぐるみで育て、守れるようになれば幸いです。ちょうど、本年度から稲成小学校と地域とが共に

手を取り合う「共育コミュニティ」事業が始まっています。通学中の子どもたちの見守り活動や、図書の本の整理、学習の手伝い等々色々ありますので、「地域の宝」を守り育てるため、皆様の御参加をよろしくお願ひします。



「2015 いなり・むつみふるさとまつり」大盛況に終わる

「2015 いなり・むつみふるさとまつり」が11月14日（土）、15日（日）に開催されました。14日（土）は作品展の展示、農産物の展示が開催されました。15日には様々な催しが開催され、会場はとても賑いました。地域の方だけでなく、地域外からも参加された方もいました。このイベントをきっかけに、多くの人が集い、地域の親睦が図られたのではないかと感じております。会場の様子や詳細は下記のとおりです。

関係者の皆様には、多大なご協力を賜りました。また、地域の皆様の御支援もあり、無事開催することができたことを、紙面をお借りし、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

作品展の様子です。保育所の子どもたちの作品も展示しており、見学に来た小学生は地域の作品は「すごい」、「かっこいい」といい、保育所の作品は「かわいい」などと言いながら見学していました。



総合学習の発表会の様子です。子どもたちは日頃勉強したことを上手にまとめ、発表していました。高雄中学校吹奏楽部の演奏や、稲成保育所園児による発表もあり、会場は盛り上がりました。



11月15日（日）の午後からは舞台発表や、農産物の即売会なども開催され、会場となった稲成小学校はとても賑いました。作品の出展、舞台の出演をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

舞台発表の様子です。各区からの出演はもちろんのこと、各種団体からもご出演いただきました。さらに、田辺市ALTのマギーも舞踊と一緒に踊り、JA紀南からはうめっぴ・みかっぴも駆けつけ、会場を沸かせてくれました。



農産物の即売会の様子、お菓子・おもちまきの様子です。会場には大勢の方が訪れ大変賑わいました。珍しい野菜もあり、役員に聞いている方もいらっしゃいました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

